

3年生からアドバイス ～1・2年生合同 総合的な学習の時間～

1月18日(水)6校時、1・2年生約80名に向けて、3年生の代表10名が、これから進路を考え決定していく下級生のためにアドバイスをを行いました。3年生の代表生徒たちは、一人ずつ順番に教壇に立ち、緊張しながらもそれぞれの経験に基づき、自分の言葉で後輩に向けた良い話をしてくれました。以下、話の内容を要約しました。

【進路はなるべく早く決める】

- ・「3年生になってから考えよう」と思っている人はぜひ今から考えてほしい。3年生はあっという間。決めるのが遅いとどんどん進路先が狭くなっていってしまう。
- ・たくさん悩むことも大事だが、早い決断が大切。3年になってから受験勉強に取り組み出したが遅すぎた。自分の性格、興味関心などまず自分自身を知ることによって進路を決めやすくなる。
- ・悩んでいるだけでは何も変わらないので、オープンキャンパスにたくさん行く。
- ・オープンキャンパスに参加した時に学校の魅力や一番実現したい夢に向けた資格がたくさん取れること、就職率が高いということを知って進路を決めた。
- ・2年生の時にいったオープンキャンパスから大きく進路に向けて考え始めた。夏休みまでには行きたい学校を決めてオープンキャンパスに行く。行ってみないと魅力はわからない。

【親や先生に自分の行きたい進路について相談する】

- ・親は人生の先輩であり、みんなの事を一番よく知っている。先生方からは、いつまでに何をしなければいけないかなど進路実現に向けていろいろ教えてもらえる。
- ・自分でいっぱい調べる。自分で考え調べてやってみる。自分で調べてよくわからないことがあったら先輩や先生に相談してみる。
- ・つまずいても良いと思う。つまずいたら周りを見る。先生や友達が相談に乗ってくれる。
- ・落ちてでもへこまない。

【ボランティア、部活などをとおしてたくさんの経験をする、楽しむ】

- ・いろんなことに興味を持つこと。いろんなボランティアや自分がしたことのない経験の一つでも多くすること。その中で自分に合うものを見つけてほしい。
- ・3年間部活動を続けたことによって得るものがたくさんあった。他校生との人脈も広がり刺激をもらった。頑張っただけ自分に返ってくるし忍耐力がつく。それは進路決定にも社会に出た時にも役に立つ。
- ・あっという間に終わってしまう3年間。高校生活を思いっきり楽しむ。思い出を作る。

【あたりまえのことだけど】

- ・1年、2年の時にしっかりと勉強をして良い成績を取っておかないと3年生になって困る。教科の成績によって行きたい大学や専門学校のAO入試や推薦入試を受けられるかどうかが変わってくる。
- ・欠席や遅刻は少ない方がいい。欠席や遅刻が多いと面接のときに聞かれたり受験が制限されたりすることもある。
- ・授業中に先生の話もしっかりと聞く。勉強が苦手なくせにそれを放置していたので受験を前にすると過去に戻りたいと思った。得意教科だけでもいいから普段からコツコツ勉強することをおすすめする。
- ・英検などの検定試験に挑戦する。苦勞もしたが合格した時はうれしかった。検定は受けておいて損することは絶対ない。

(校長 高橋信之)